



令和7年12月23日  
大臣官房会計課

## 令和8年度予算大臣折衝について

本日行われました令和8年度予算大臣折衝の結果について  
お知らせします。

### 【お問い合わせ先】

水管理・国土保全局

大臣官房参事官（上下水道技術）付

課長補佐 川島

代表 03-5253-8111 (内線 34326)

直通 03-5253-8432

海上保安庁

主計管理官付 課長補佐 寺田

代表 03-3591-6361 (内線 2702)

直通 03-3580-1016

令和 8 年度 予 算  
大 臣 折 衝 結 果

令和 7 年 12 月 23 日  
国 土 交 通 省

令和7年12月23日  
国 土 交 通 省

## 令和8年度予算大臣折衝の結果

○埼玉県八潮市の道路陥没事故の教訓を踏まえた上下水道管路の老朽化対策の推進

認められた。

○海上保安能力の強化

認められた。

## 埼玉県八潮市の道路陥没事故の教訓を踏まえた

### 上下水道管路の老朽化対策の推進

- 令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没事故を教訓として、上下水道管路の老朽化対策を推進していくことが重要。
- 大口径の管路や緊急輸送道路に埋設された管路など、事故発生時に多数の地域住民に重大な影響を及ぼす上下水道の重要な管路について、計画的・集中的な更新や複線化等を実施できるよう、個別補助事業の創設を要求。  
(令和8年度予算：320億円)
- 折衝の結果、財務大臣より、要求のとおり認められたこととなった。

大口径の管路や緊急輸送道路に埋設された管路など、事故発生時に多数の地域住民に重大な影響を及ぼす管路（重要管路）の更新や、重要管路のうち、災害・事故後に迅速に機能を確保することが容易ではない管路の複線化等を推進するため、個別補助事業を創設し、重点的に支援する。

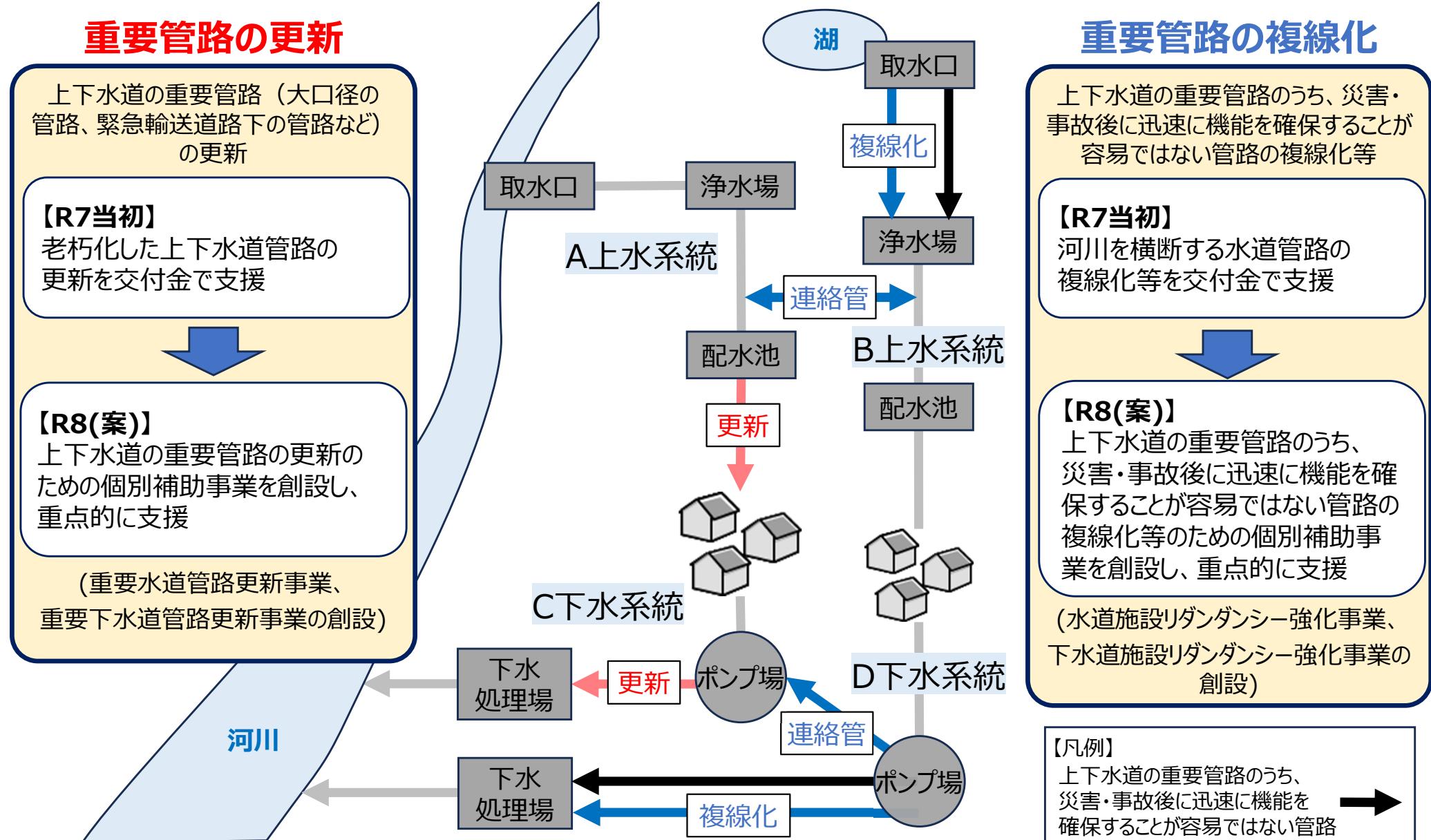
## 重要管路の更新

上下水道の重要管路（大口径の管路、緊急輸送道路下の管路など）の更新

**【R7当初】**  
老朽化した上下水道管路の更新を交付金で支援

**【R8(案)】**  
上下水道の重要管路の更新のための個別補助事業を創設し、重点的に支援

（重要水道管路更新事業、重要下水道管路更新事業の創設）



## 重要管路の複線化

上下水道の重要管路のうち、災害・事故後に迅速に機能を確保することが容易ではない管路の複線化等

**【R7当初】**  
河川を横断する水道管路の複線化等を交付金で支援

**【R8(案)】**  
上下水道の重要管路のうち、災害・事故後に迅速に機能を確保することが容易ではない管路の複線化等のための個別補助事業を創設し、重点的に支援

（水道施設リダンダンシー強化事業、下水道施設リダンダンシー強化事業の創設）

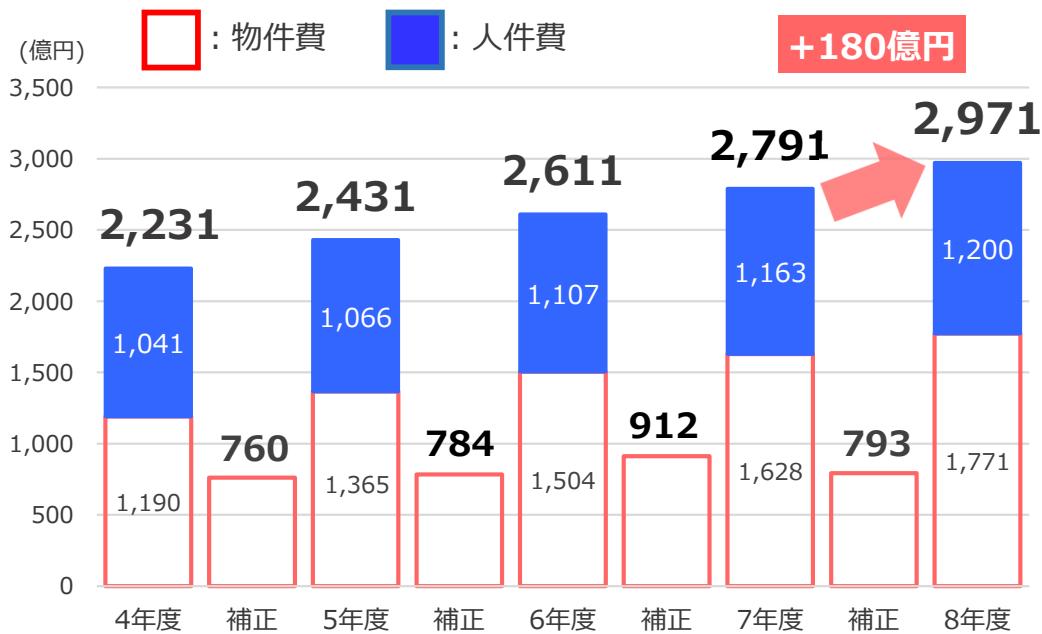
**【凡例】**  
上下水道の重要管路のうち、災害・事故後に迅速に機能を確保することが容易ではない管路

## 海上保安能力の強化

- 我が国周辺海域を取り巻く情勢は一層厳しさを増しており、令和4年12月に関係閣僚会議で決定された「海上保安能力強化に関する方針」に基づき、海上保安能力の充実強化を進めていく必要がある。
- このため、海上保安庁予算について、無操縦者航空機4機及び中型ジェット機1機の増強整備による広域海洋監視体制の強化や、人的基盤の強化・業務効率化のために必要な予算を要求。  
(令和8年度予算：2,971億円)
- 折衝の結果、財務大臣より、上記の要求内容に加えて、無操縦者航空機については、要求から1機追加して5機の購入が認められることとなった。

## 海上保安庁予算の推移

※ 補正是人件費含まず



## 中型ジェット機 1 機の増強整備

- 広域海洋監視体制を重点的に強化するため、中型ジェット機1機を整備。

令和8年度当初予算額：34億円

(1機の新規契約、令和12年度就役予定)

### 就役スケジュール

R1：1機就役（北九州） R9：2機就役予定  
R3：1機就役（北九州） R12：1機就役予定  
R4：1機就役（北九州）

### 想定される主な業務



領海警備



治安の確保



災害対応



※イメージ

## 無操縦者航空機の10機体制の構築

- 今年度、運用拠点を八戸飛行場から北九州空港に移し、新たに配備する2機を加えた5機体制を構築するとともに、令和12年度までに**10機体制**の構築を図ることにより、更なる広域海洋監視能力の強化を推進。



※イメージ

令和8年度当初予算額：111億円  
(5機の新規契約及び5機の運用経費)

### 体制整備のスケジュール

R4：運用開始（1機体制）  
R5：3機体制  
R7：北九州空港移転  
R8：5機体制  
R12：10機体制



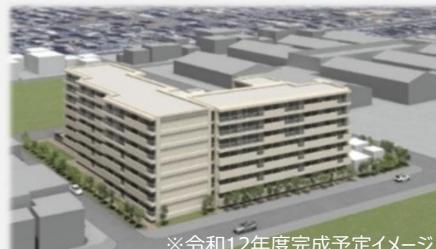
令和6年能登半島地震対応

## 人的基盤の強化等

- 海上保安官一人ひとりがやりがいを実感し、能力を十分に発揮できるよう、業務効率化や勤務環境の向上に取り組み、海上保安能力強化のための人的基盤を強化。

### 【令和8年度から開始するPFI事業】

令和8年度当初予算額：7億円



※令和12年度完成予定イメージ

職場環境の改善に資する宿舎整備  
(鹿児島県)

令和8年度当初予算額：0.4億円



教育訓練施設の拡充（海上保安学校）